



ハチトラップとは



ハチトラップとは、女王バチを捕まえて巣作りを事前に食い止めるためのものです。女王バチは、おおよそ春から夏にかけて、巣作りを始めます。その時期にハチトラップを仕掛けることで、周辺に巣を作らせない効果が期待できます。

◎ 設置場所

- 直射日光の当たらない木陰等で高さ2mくらいの場所
- 子どもの手が届かず、あまり人が近づかない場所
- 自己で所有または管理している場所



※ハチトラップは、ハチが**巣作りを始める前**（4月～5月）に設置しましょう。

※ハチは朝から日中にかけて活動するので、**設置は日没から明け方の間**に行いましょう。

◎ 処分方法

1. ポリ袋の中に新聞紙を敷き詰める
2. ペットボトル上部を切断し、中のハチを出しやすくする
3. トラップの中身を袋に出す
4. 袋をしっかりと縛り、燃えるゴミとして処分する



※ハチが活着ている場合は、危険なので**取り出さない**でください。

※死んでいるハチでも毒針がでている場合があるため、**厚手の手袋等を着用して**処分しましょう。

◎ 注意点

- 6月～7月になると働きバチが急激に増えるため、ハチトラップの設置は控えましょう。
- 誘因効果が**2週間程度**のため、必要に応じて、液の入れ替えやハチトラップの取り換えを行いましょう。



ハチトラップの作り方



◎ハチトラップの材料

〈トラップ容器〉

- 空のペットボトル
(1.5～2Lの凹凸のないもの)
- ひも (タコ糸や針金でも可)
ペットボトルは、コーラやオレンジジュース等の甘い飲み物が入っていたものを使うと、ハチをより誘い込みやすくなる可能性があります。

〈誘引液〉

- 酒 300ミリリットル
- 酢 100ミリリットル
- 砂糖 100グラム
- ブドウの皮
(なくても可)

〈作業に必要な道具〉

- カッターナイフ
- 油性マジック



◎作り方

1. ペットボトル上部に2～4か所のH型のしるしを描く
(縦横2cm程度)
2. しるしに沿ってカッターナイフで切り込む
3. 切り込みの上部は外側に、下部は内側に折り曲げる
4. ひも等をペットボトル上部につける
5. 誘引液の材料を混ぜて容器に入れる
(底から7cm程度)
6. キャップを閉める

青梅市役所 環境政策課 環境対策係
〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
Tel : 0428-22-1111 (内線2538・2539)